

最大 921.6Kbps 高速シリアルポート搭載 HSPA 対応高速モバイル VPN ルータ

Rooster  S

SC-RS710ES

TELNET 設定機能取扱説明書

<http://www.sun-denshi.co.jp/sc/>



## TELNET 設定機能説明書 目次

1. 概要	1
2. 実装コマンド	1
3. 通信概略	1
4. 通信手順	1
5. 通信フォーマット	1
6. コマンド詳細	2
6.1 ユーザ補助コマンド	2
6.1.1 コマンド一覧表示	2
6.1.2 コマンド補完処理	2
6.2 システム情報表示	2
6.2.1 MACアドレス表示	2
6.2.2 全設定内容表示	3
6.2.3 ARP表示	3
6.2.4 即時反映フラグの設定	3
6.3 モバイル通信端末情報表示	3
6.3.1 モバイル通信端末の電話番号表示	3
6.3.2 モバイル通信端末のアンテナレベル表示	4
6.3.3 モバイル通信端末の現在位置表示	4
6.3.4 モバイル通信端末の電源の入れ直し	4
6.4 機器の設定・情報取得	5
6.4.1 パスワード	5
6.4.2 NTP使用状態	5
6.4.3 NTPサーバ1	5
6.4.4 NTPサーバ2	5
6.4.5 NTP問合せ間隔	6
6.4.6 メールアカウント種別	6
6.4.7 SMTPサーバ	6
6.4.8 POP3サーバ	6
6.4.9 メールアカウント名	7
6.4.10 メールパスワード	7
6.4.11 メール送信ポート番号	7
6.4.12 ハードウェアにおける自動電源OFF/ON機能の使用の有無	8
6.4.13 ソフトウェアにおける自動電源OFF/ON機能の使用の有無	8
6.4.14 ソフトウェアにおける自動電源OFF/ON機能の間隔/時刻指定の設定	9
6.4.15 自動電源OFF/ON機能の時間間隔設定	9
6.4.16 ソフトウェアにおける自動電源OFF/ON機能の時刻指定設定	10
6.4.17 ソフトウェアにおける自動電源OFF/ON機能の動作のタイミング設定	10
6.4.18 ソフトウェアにおける自動電源OFF/ON機能の曜日および実行設定	11
6.4.19 LAN IPアドレス	11
6.4.20 LANサブネットマスク	11
6.4.21 LAN RIP設定	12

6.4.22 モバイル通信端末初期化ATコマンド	12
6.4.23 モバイル通信端末無効設定	12
6.4.24 ダイヤルアップ使用設定	12
6.4.25 ダイヤルアップ自動接続設定	13
6.4.26 ダイヤルアップセッションキープ	13
6.4.27 ダイヤルアップ無通信監視	13
6.4.28 ダイヤルアップ無通信監視時間	13
6.4.29 ダイヤルアップ NAT設定	14
6.4.30 ダイヤルアップ接続先	14
6.4.31 ダイヤルアップモード設定	15
6.4.32 ダイヤルアップ認証プロトコル設定	15
6.4.33 ダイヤルアップ暗号化設定	15
6.4.34 ダイヤルアップ本体側IPアドレスモード設定	15
6.4.35 ダイヤルアップ本体側IPアドレス設定	16
6.4.36 RAS着信使用設定	16
6.4.37 RAS着番認証使用設定	16
6.4.38 RAS着信モード設定	17
6.4.39 RAS着信認証プロトコル設定	17
6.4.40 RAS着信暗号化方式設定	17
6.4.41 RASクライアントIPアドレス設定	17
6.4.42 RAS着信本体側IPアドレスモード設定	18
6.4.43 RAS着信本体側IPアドレス設定	18
6.4.44 RAS着信ID設定	18
6.4.45 RAS着信パスワード設定	18
6.4.46 RAS着信NAT設定	19
6.4.47 RAS着番リスト	19
6.4.48 WakeOn着信使用設定	20
6.4.49 WakeOnメッセージ種別	20
6.4.50 WakeOn認証キー	20
6.4.51 WakeOn着番認証使用設定	20
6.4.52 WakeOn着番リスト	21
6.4.53 シリアル使用設定	21
6.4.54 シリアルのボーレート設定	21
6.4.55 シリアルのフロー制御設定	22
6.4.56 シリアルのデータビット設定	22
6.4.57 シリアルのパリティ設定	22
6.4.58 シリアルのストップビット設定	22
6.4.59 シリアルのモード設定	23
6.4.60 シリアルの無通信監視設定	23
6.4.61 シリアルの無通信監視時間設定	23
6.4.62 シリアルの後位端末接続方式設定	23
6.4.63 シリアルのプロトコル設定	24
6.4.64 シリアルの宛先ホスト設定	24
6.4.65 シリアルの宛先ポート設定	24
6.4.66 シリアルの待受ポート設定	24
6.4.67 アドレス解決使用設定	25
6.4.68 アドレス解決更新時間	25
6.4.69 アドレス解決種別	25
6.4.70 アドレス解決送信先メールアドレス	25
6.4.71 アドレス解決送信元メールアドレス	26
6.4.72 アドレス解決メール送信種別	26

6.4.73	アドレス解決指定メッセージ	26
6.4.74	アドレス解決ダイナミックDNS種類	27
6.4.75	アドレス解決ダイナミックDNSサーバ名	27
6.4.76	アドレス解決ダイナミックDNSホスト名	27
6.4.77	アドレス解決ダイナミックDNSアカウント	27
6.4.78	アドレス解決ダイナミックDNSパスワード	28
6.4.79	DNSサービス使用設定	28
6.4.80	DHCP機能使用設定	28
6.4.81	DHCP方式	28
6.4.82	上位DHCPサーバIPアドレス	29
6.4.83	DHCPリース開始IPアドレス	29
6.4.84	DHCPリースアドレス個数	29
6.4.85	TELNETサービス使用設定	29
6.4.86	TELNET LANポートアクセス許可設定	30
6.4.87	TELNET外部アクセス許可設定	30
6.4.88	TELNETポート	30
6.4.89	WEBサービス使用設定	30
6.4.90	WEB LANポートアクセス許可設定	31
6.4.91	WEB外部アクセス許可設定	31
6.4.92	WEBサービスポート	31
6.4.93	WANハートビート使用設定	31
6.4.94	WANハートビート監視時間	32
6.4.95	WANハートビート無応答時動作	32
6.4.96	WANハートビート監視先	32
6.4.97	WANハートビート監視先IPアドレス	32
6.4.98	パケット通信ログ使用設定	33
6.4.99	Syslogサーバ	33
6.4.100	SyslogサーバIPアドレス	33
6.4.101	PPPログ使用設定	33
6.4.102	USBログ使用設定	34
6.4.103	蓄積サービス使用設定	34
6.4.104	蓄積サービスの送信方式設定	34
6.4.105	蓄積サービスの送信先サーバ設定	34
6.4.106	蓄積サービスの宛先ポート設定	35
6.4.107	蓄積サービスの送信先ディレクトリ設定	35
6.4.108	蓄積サービスのCGI設定	35
6.4.109	蓄積サービスのftp送信先ファイル名設定	35
6.4.110	蓄積サービスの認証設定	36
6.4.111	蓄積サービスの認証方式設定	36
6.4.112	蓄積サービスの認証用ユーザ名設定	36
6.4.113	蓄積サービスの認証用パスワード設定	36
6.4.114	蓄積サービスの保存サイズ上限設定	37
6.4.115	蓄積サービスの外部からのデータ取得許可設定	37
6.4.116	蓄積サービスのWakeOn着信時の送信設定	37
6.4.117	蓄積サービスの送信タイミング設定	37
6.4.118	蓄積サービスの送信間隔設定	38
6.4.119	蓄積サービスの送信日時設定	38
6.4.120	IPSecパススルー	39
6.4.121	PPTPパススルー	39
6.4.122	スタティックルーティング	39
6.4.123	フィルタリングポリシー	40

6.4.124	フィルタリングリスト	40
6.4.125	バーチャルサーバ	41
6.4.126	DMZ使用設定	41
6.4.127	DMZプライベートIPアドレス	41
6.4.128	VPN	42
6.4.129	VPNバックアップ	43
6.4.130	VPNキーブアライブ時間	43
6.4.131	VPNキーブアライブ回数	44
6.4.132	日時設定	44
6.5	ログ情報表示	44
6.5.1	ログ表示	44
6.5.2	ログクリア	44
6.6	ステータス情報表示	45
6.6.1	ステータス表示	45
6.7	接続・切断機能	45
6.7.1	回線の接続	45
6.7.2	回線の切断	45
6.8	その他機能	46
6.8.1	本機のリセット	46
6.8.2	設定全消去	46
6.8.3	設定保存	46
6.8.4	ping	46
6.8.5	コンソールの終了	46
●	サポートのご案内	47

# 1. 概要

Rooster-es の TELNET コンソール機能について記載します。

# 2. 実装コマンド

本機能にて実装するコマンドは、以下のとおりです。

1. 各種設定機能
2. 各種設定内容の表示機能
3. 設定内容保存機能
4. ログ出力機能
5. システム情報出力機能
6. ステータス情報出力機能
7. ping 機能
8. 本機のリセット
9. 設定全消去（工場出荷設定に戻す）
10. 接続
11. 切断

# 3. 通信概略

監視用のマシンから、Rooster-es の TELNET ポート（ポート番号：23）に接続し、Rooster-es の制御を行います。（ポート番号は設定により変更出来ます。）

Rooster-es はコマンドを受信し処理を行います。また、コマンドに対しリザルトがある場合、これを監視用マシンに送ります。



# 4. 通信手順

本機能を使用する手順について以下のように行います。

1. 監視用マシンより、Rooster-es の TELNET ポート（工場出荷時 23）に接続します。
2. ログイン名、パスワードを入力して、Rooster-es にログインします。  
工場出荷時の状態ではログイン名・パスワードはそれぞれ、admin、1234 となります。  
なお、パスワードに関してはパスワード設定（set password）により変更できます。  
〈接続例〉  

```

>telnet 192.168.62.1 23[CR] ←TELNET 接続
~~~~~
login : admin[CR]           ←ログイン名を入力
password : 1234[CR]        ←パスワードを入力（非表示）
Welcome Rooster maintenance console.
system version : RS710ES-2.00, Mar 25 2010 11:43:39

```
3. Rooster-es から、プロンプトが送信されます。
4. 監視マシンは、（プロンプト待ちをした後）コマンドを送信します。
5. Rooster-es は、リザルトを出力します。→ 3 へ。

通信を終了するにはコンソールの終了コマンド（exit）を使用してください。

# 5. 通信フォーマット

通信フォーマットについて記述します。

- コマンド（監視マシン→Rooster-es）

（コマンド） （詳細はコマンド詳細にて）	CR
-------------------------	----

- プロンプト（Rooster-es→監視マシン）

CR	LF	-
----	----	---

- リザルト（Rooster-es→監視マシン）

（リザルト） （詳細はコマンド詳細にて）	CR	LF
-------------------------	----	----

## 6. コマンド詳細

各コマンドについて詳細は以下のとおりです。

### 6.1 ユーザ補助コマンド

#### 6.1.1 コマンド一覧表示

機能	コマンド一覧を表示します。
コマンド	?
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <p>-? ←?を入力。</p> <p>[ system - システムの表示/設定 ←コマンド一覧を表示。</p> <p>set - 設定を登録</p> <p>get - 設定の表示</p> <p>log - ログの表示</p> <p>status - ステータスの表示</p> <p>connect - 接続</p> <p>discon - 切断</p> <p>reset - システムの再起動</p> <p>allclear - 設定を工場出荷時に戻す</p> <p>save - 設定を不揮発メモリに保存</p> <p>ping - ping を実行</p> <p>exit - telnet 終了 ]</p> <p>-</p> <p>-system ? ←?を入力。</p> <p>[ mac - MAC アドレスの表示 ←コマンド一覧を表示。</p> <p>config - 現在の設定一覧を表示</p> <p>dynupdate - 即時反映フラグの設定</p> <p>arp - ARP キャッシュの表示</p> <p>mobilecard - モバイル通信端末の状態表示・操作 ]</p> <p>-system</p>
備考	このコマンドは?を入力した時点で動作します。

#### 6.1.2 コマンド補完処理

機能	入力途中のコマンドを補完します。
コマンド	TAB キー 及び ?
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <p>-sy[TAB] ←TAB を入力した時点で補完される。</p> <p>↓</p> <p>-system ←補完結果</p> <p>-sy? ←?でも同様。?を入力した時点で補完される。</p> <p>↓</p> <p>-system ←補完結果</p>
備考	このコマンドは[TAB]や?を入力した時点で動作します。

### 6.2 システム情報表示

#### 6.2.1 MACアドレス表示

機能	本機の MAC アドレスを表示します。
コマンド	system mac
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <p>-system mac[CR] ←コマンドを入力。</p> <p>eth0=00:05:7D:0A:00:04 ←LAN 側 MAC</p> <p>-</p>

## 6.2.2 全設定内容表示

機能	設定内容の一覧を表示します。
コマンド	system config
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-system config [CR]          ←コマンドを入力。 メモ：同じ設定にする場合、以下の内容をコピーペーストする       ことで設定できます。       その際、'#' のコメントマークを削除してください。  #system dynupdate 0 set password 1234          ←設定内容一覧が出力される。 set ntp use 1 set ntp server1 ntp.jst.mfeed.ad.jp . . . . . . . . . set autoreboot soft fri 0 set autoreboot soft sat 0 set autoreboot soft sun 0 #save -</pre>
備考	出力される内容は、そのまま設定に用いることができます。出力内容を他の Rooster-es のコンソールに入力することにより、同一設定の Rooster-es を作成できます。

## 6.2.3 ARP表示

機能	ARP のテーブルを表示します。
コマンド	system arp
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-system arp [CR]          ←コマンドを入力。 処理中です...          ←ARPテーブル一覧が出力される。 Address      HWtype HWaddress      Flags Mask Iface 192.168.62.50 ether 00:05:7D:04:13:E1      C      eth0 . . . . . . . . . 192.168.1.59 ether 00:05:7D:04:13:EF      C      eth0 -</pre>

## 6.2.4 即時反映フラグの設定

機能	即時反映フラグを設定します。
コマンド	system dynupdate
パラメータ	第1パラメータ：即時反映させるかの設定 (0:即時に反映させない, 1:即時に反映させる)
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-system dynupdate 0 [CR]    ←コマンドを入力。 -</pre>
初期値	1
備考	各種設定で、設定を行った直ちに反映させるかどうかを決めるフラグです。 デフォルトの“即時反映させる”設定の場合、設定を行ってから設定完了に時間がかかる場合があり、ある程度まとめて設定を行う場合、または設定後直ちに設定を反映させたくない場合に使用します。

## 6.3 モバイル通信端末情報表示

## 6.3.1 モバイル通信端末の電話番号表示

機能	モバイル通信端末の電話番号を表示します。
コマンド	system mobilecard telno
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-system mobilecard telno[CR] ←コマンドを入力。 TELNO:070***** -</pre>
備考	<p>取得できた場合、“TELNO:[電話番号]”と出力します。 取得に失敗した場合、“TELNO:”とのみ出力します。</p> <p>本機能は、モバイル通信端末自身に実装される機能に依存します。よって、ご使用になるモバイル通信端末自身にその機能がない場合、実現できません。</p>

## 6.3.2 モバイル通信端末のアンテナレベル表示

機能	モバイル通信端末の現在のアンテナレベルを表示します。
コマンド	system mobilecard antlvl
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -system mobilecard antlvl[CR] ←コマンドを入力。 ANTLVL:6 -
備考	<p>取得できた場合、"ANTLVL:[数値]"と出力します。 数値範囲は、以下のような範囲となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●PHS（ウィルコム・日本通信） <ul style="list-style-type: none"> <li>0：圏外</li> <li>1：待ち受けゾーン保持レベル以上</li> <li>2：待ち受けゾーン選択レベル以上</li> <li>3：待ち受けゾーン選択レベル+4dB<math>\mu</math>V以上</li> <li>4：待ち受けゾーン選択レベル+8dB<math>\mu</math>V以上</li> <li>5：待ち受けゾーン選択レベル+12dB<math>\mu</math>V以上</li> <li>6：待ち受けゾーン選択レベル+16dB<math>\mu</math>V以上</li> </ul> </li> <li>●FOMA <ul style="list-style-type: none"> <li>0：圏外</li> <li>1：アンテナ1本</li> <li>2：アンテナ2本</li> <li>3：アンテナ3本</li> </ul> </li> </ul> <p>（その他の事業者の端末では使用できません）</p> <p>取得に失敗した場合、"ANTLVL:"とのみ出力します。</p> <p>本機能は、モバイル通信端末自身に実装される機能に依存します。 よって、ご使用になるモバイル通信端末自身にその機能がない場合、実現できません。 また、モバイル通信端末が通信していない待機状態のみ使用できます。待機状態以外で実行された場合、取得または実行できず失敗となります。</p>

## 6.3.3 モバイル通信端末の現在位置表示

機能	モバイル通信端末の現在位置を表示します。
コマンド	system mobilecard locate
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -system mobilecard locate[CR] ←コマンドを入力。 LOCATE:N35:19:55 E136:52:27 -
備考	<p>取得できた場合、"LOCATE:[現在位置]"と出力します。 取得に失敗した場合、"LOCATE:"とのみ出力します。</p> <p>本機能は、モバイル通信端末自身に実装される機能に依存します。 よって、ご使用になるモバイル通信端末自身にその機能がない場合、実現できません。 また、モバイル通信端末が通信していない待機状態のみ使用できます。待機状態以外で実行された場合、取得または実行できず失敗となります。</p>

## 6.3.4 モバイル通信端末の電源の入れ直し

機能	モバイル通信端末の電源の入れ直しを行います。
コマンド	system mobilecard restart
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -system mobilecard restart[CR] ←コマンドを入力。 OK -
備考	<p>電源の入れ直しに成功した場合、"OK"と出力します。 電源の入れ直しに失敗した場合、"ERROR"と出力します。</p> <p>本機能は、モバイル通信端末自身に実装される機能に依存します。 よって、ご使用になるモバイル通信端末自身にその機能がない場合、実現できません。 また、モバイル通信端末が通信していない待機状態のみ使用できます。待機状態以外で実行された場合、取得または実行できず失敗となります。</p>

## 6.4 機器の設定・情報取得

## 6.4.1 パスワード

## (1) 設定

機能	本機のパスワードを設定します。
コマンド	set password
パラメータ	第1パラメータ: パスワード文字列 (半角 16 文字までの文字列)
動作	実際の通信例 <code>-set password 1234[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	1234

## (2) 取得

機能	本機のパスワードを取得します。
コマンド	get password
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get password[CR]</code> ←コマンドを入力。 1234 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.2 NTP使用状態

## (1) 設定

機能	NTPを使用するかどうかを設定します。
コマンド	set ntp use
パラメータ	第1パラメータ: 使用するかどうかの設定 (0: 使用しない 1: 使用する)
動作	実際の通信例 <code>-set ntp use 0[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	NTP使用状態を取得します。
コマンド	get ntp use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get ntp use[CR]</code> ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.3 NTPサーバ1

## (1) 設定

機能	NTPサーバ1を設定します。
コマンド	set ntp server1
パラメータ	第1パラメータ: NTPサーバのアドレス (半角 64 文字までの文字列)
動作	実際の通信例 <code>-set ntp server1 ntp.jst.mfeed.ad.jp[CR]</code> ↑コマンドを入力。 -
初期値	ntp.jst.mfeed.ad.jp

## (2) 取得

機能	NTPサーバ1の設定内容を取得します。
コマンド	get ntp server1
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get ntp server1[CR]</code> ←コマンドを入力。 ntp.jst.mfeed.ad.jp ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.4 NTPサーバ2

## (1) 設定

機能	NTPサーバ2を設定します。
コマンド	set ntp server2
パラメータ	第1パラメータ: NTPサーバのアドレス (半角 64 文字までの文字列)
動作	実際の通信例 <code>-set ntp server2 ntp.nict.jp[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	ntp.nict.jp

## (2) 取得

機能	NTPサーバ2の設定内容を取得します。
コマンド	get ntp server2
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get ntp server2[CR]</code> ←コマンドを入力。 ntp.nict.jp ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.5 NTP問合せ間隔

## (1) 設定

機能	NTPの問合せ間隔を設定します。
コマンド	set ntp interval
パラメータ	第1パラメータ：問合せ間隔（時間単位）
動作	実際の通信例 <code>-set ntp interval 24[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	24

## (2) 取得

機能	NTP問合せ間隔の設定値を取得します。
コマンド	get ntp interval
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get ntp interval[CR]</code> ←コマンドを入力。 24 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.6 メールアカウント種別

## (1) 設定

機能	メールアカウントの種別を設定します。
コマンド	set mail type
パラメータ	第1パラメータ：種別（0:POPbeforeSMTP, 1:ユーザ認証SMTP）
動作	実際の通信例 <code>-set mail type 0[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	メールアカウントの種別の設定値を取得します。
コマンド	get mail type
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mail type[CR]</code> ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.7 SMTPサーバ

## (1) 設定

機能	SMTPサーバを設定します。
コマンド	set mail smtp
パラメータ	第1パラメータ：SMTPサーバ名
動作	実際の通信例 <code>-set mail smtp mail.abc.ne.jp[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	SMTPサーバの設定値を取得します。
コマンド	get mail smtp
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mail smtp[CR]</code> ←コマンドを入力。 mail.abc.ne.jp ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.8 POP3サーバ

## (1) 設定

機能	POP3サーバを設定します。
コマンド	set mail pop
パラメータ	第1パラメータ：POP3サーバ名
動作	実際の通信例 <code>-set mail pop mail.abc.ne.jp[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	POP3サーバの設定値を取得します。
コマンド	get mail pop
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mail pop[CR]</code> ←コマンドを入力。 mail.abc.ne.jp ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.9 メールアカウント名

## (1) 設定

機能	メールアカウント設定のアカウント名を設定します。
コマンド	set mail user
パラメータ	第1パラメータ：アカウント名（半角64文字までの文字列）
動作	実際の通信例 <code>-set mail user abcdefg[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	メールアカウント設定のアカウントの名設定値を取得します。
コマンド	get mail user
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mail user[CR]</code> ←コマンドを入力。 abcdefg ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.10 メールパスワード

## (3) 設定

機能	メールアカウントのパスワードを設定します。
コマンド	set mail password
パラメータ	第1パラメータ：パスワード（半角64文字までの文字列）
動作	実際の通信例 <code>-set mail password pass001[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (4) 取得

機能	メールアカウントパスワードの設定値を取得します。
コマンド	get mail password
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mail password[CR]</code> ←コマンドを入力。 pass001 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.11 メール送信ポート番号

## (1) 設定

機能	メール送信ポート設定のポート番号を設定します。
コマンド	set mail smtpport
パラメータ	第1パラメータ：ポート番号（0～65535）
動作	実際の通信例 <code>-set mail smtpport 587[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	25

## (2) 取得

機能	メール送信ポート設定のポート番号設定値を取得します。
コマンド	get mail smtpport
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mail smtpport [CR]</code> ←コマンドを入力。 587 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.12 ハードウェアにおける自動電源OFF/ON機能の使用の有無

## (1) 設定

機能	Rooster のハードウェアにおける自動電源 OFF/ON 機能を使用するかどうかを設定します。
コマンド	set autoreboot hard use
パラメータ	第 1 パラメータ：使用設定 (0:使用しない, 1:使用する)
動作	実際の通信例 -set autoreboot hard use 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	Rooster のハードウェアにおける自動電源 OFF/ON 機能を使用するかどうかを表示します。
コマンド	get autoreboot hard use (ハードウェア機能使用)
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get autoreboot hard use[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.13 ソフトウェアにおける自動電源OFF/ON機能の使用の有無

## (1) 設定

機能	Rooster のソフトウェアにおける自動電源 OFF/ON 機能を使用するかどうかを設定します。
コマンド	set autoreboot soft use
パラメータ	第 1 パラメータ：使用設定 (0:使用しない, 1:使用する[回線接続中は行わない] 2:使用する[回線接続中も行う])
動作	実際の通信例 -set autoreboot soft use 2[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	Rooster のソフトウェアにおける自動電源 OFF/ON 機能を使用するかどうかを表示します。
コマンド	get autoreboot soft use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get autoreboot soft use[CR] ←コマンドを入力。 2 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.14 ソフトウェアにおける自動電源OFF/ON機能の間隔/時刻指定の設定

## (1) 設定

機能	Roosterのソフトウェアにおける自動電源OFF/ON機能を日数(間隔)か時刻指定で行うかの設定をします。
コマンド	set autoreboot soft timeapo
パラメータ	第1パラメータ: 日数か時刻指定 (0: 日数, 1: 時刻指定)
動作	実際の通信例 -set autoreboot soft timeapo 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	Roosterのソフトウェアにおける自動電源OFF/ON機能を日数(間隔)か時刻指定で行うかの設定を表示します。
コマンド	get autoreboot soft timeapo
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get autoreboot soft timeapo[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.15 自動電源OFF/ON機能の時間間隔設定

## (1) 設定

機能	Roosterの自動電源OFF/ON機能の時間間隔を設定します。
コマンド	set autoreboot hard interval (ハードウェア機能使用) set autoreboot soft interval (ソフトウェア機能使用)
パラメータ	第1パラメータ: 時間間隔 (ハードウェア機能使用の場合 0:35時間, 1:6日) (ソフトウェア機能使用の場合 1~7 単位: 日)
動作	実際の通信例 -set autoreboot hard interval 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	ハードウェア機能: 0 ソフトウェア機能: 1

## (2) 取得

機能	Roosterの自動電源OFF/ON機能の時間間隔を表示します。
コマンド	get autoreboot hard interval (ハードウェア機能使用) get autoreboot soft interval (ソフトウェア機能使用)
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get autoreboot hard interval[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.16 ソフトウェアにおける自動電源OFF/ON機能の時刻指定設定

## (1) 設定

機能	Rooster のソフトウェアにおける自動電源 OFF/ON 機能の動作時刻を設定します。
コマンド	<code>set autoreboot soft timeset</code>
パラメータ	第 1 パラメータ : 時刻
動作	実際の通信例 (午後 3 : 00 に設定する場合) <code>-set autoreboot soft timeset 1500[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0000

## (2) 取得

機能	Rooster のソフトウェアにおける自動電源 OFF/ON 機能の動作時刻を表示します。
コマンド	<code>get autoreboot soft timeset</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get autoreboot soft timeset[CR]</code> ←コマンドを入力。 1500 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.17 ソフトウェアにおける自動電源OFF/ON機能の動作のタイミング設定

## (1) 設定

機能	Rooster のソフトウェアにおける自動電源 OFF/ON 機能の動作のタイミングを設定します。
コマンド	<code>set autoreboot soft weekapo</code>
パラメータ	第 1 パラメータ : 日にち (0: 毎日, 1: 曜日指定)
動作	実際の通信例 <code>-set autoreboot soft weekapo 1[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	Rooster のソフトウェアにおける自動電源 OFF/ON 機能の動作のタイミングを表示します。
コマンド	<code>get autoreboot soft weekapo</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get autoreboot soft weekapo[CR]</code> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.18 ソフトウェアにおける自動電源OFF/ON機能の曜日および実行設定

## (1) 設定

機能	Rooster のソフトウェアにおける自動電源 OFF/ON 機能の曜日を設定します。
コマンド	set autoreboot soft
パラメータ	第 1 パラメータ : 曜日 (月 : mon, 火 : tue, 水 : wed, 木 : thu, 金 : fri, 土 : sat, 日 : sun) 第 2 パラメータ : 実行の有無 (無効 : 0, 実行 : 1)
動作	実際の通信例 (曜日を月曜日に設定する場合) <code>-set autoreboot soft mon 1[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	Rooster のソフトウェアにおける自動電源 OFF/ON 機能の曜日を表示します。
コマンド	get autoreboot soft
パラメータ	第 1 パラメータ : 曜日 (月 : mon, 火 : tue, 水 : wed, 木 : thu, 金 : fri, 土 : sat, 日 : sun)
動作	実際の通信例 <code>-get autoreboot soft mon [CR]</code> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.19 LAN IPアドレス

## (3) 設定

機能	LAN の IP アドレスを設定します。
コマンド	set lan ip
パラメータ	第 1 パラメータ : IP アドレス (xxx.xxx.xxx.xxx)
動作	実際の通信例 <code>-set lan ip 192.168.62.1[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	192.168.62.1

## (4) 取得

機能	LAN の IP アドレスの設定値を取得します。
コマンド	get lan ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get lan ip[CR]</code> ←コマンドを入力。 192.168.62.1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.20 LANサブネットマスク

## (1) 設定

機能	LAN のサブネットマスクを設定します。
コマンド	set lan subnet
パラメータ	第 1 パラメータ : サブネットマスク (xxx.xxx.xxx.xxx)
動作	実際の通信例 <code>-set lan subnet 255.255.255.0[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	255.255.255.0

## (2) 取得

機能	LAN のサブネットマスクの設定値を取得します。
コマンド	get lan subnet
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get lan subnet[CR]</code> ←コマンドを入力。 255.255.255.0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.21 LAN RIP設定

## (1) 設定

機能	LANのRIP機能の使用設定を行います。
コマンド	set lan rip
パラメータ	第1パラメータ：RIP機能の使用設定 (0:RIP無効, 1:RIP有効)
動作	実際の通信例 -set lan rip 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	LANのRIP機能の設定値を取得します。
コマンド	get lan rip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get lan rip[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.22 モバイル通信端末初期化ATコマンド

## (1) 設定

機能	モバイル通信端末の初期化ATコマンドを設定します。
コマンド	set mobile init_at_command
パラメータ	第1パラメータ：ATコマンド
動作	実際の通信例 -set mobile init_at_command ATZ[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	モバイル通信端末初期化ATコマンドの設定値を取得します。
コマンド	get mobile init_at_command
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile init_at_command [CR] ←コマンドを入力。 ATZ ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.23 モバイル通信端末無効設定

## (1) 設定

機能	モバイル通信端末無効の設定をします。
コマンド	set mobile disable
パラメータ	第1パラメータ：無効設定 (0: モバイル通信端末有効, 1: モバイル通信端末無効)
動作	実際の通信例 -set mobile disable 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	モバイル通信端末無効の設定値を取得します。
コマンド	get mobile disable
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile disable[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.24 ダイアルアップ使用設定

## (1) 設定

機能	ダイアルアップの使用設定をします。
コマンド	set mobile dialup use
パラメータ	第1パラメータ：ダイアルアップ使用設定 (0:使用しない, 1:使用する)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup use 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	ダイアルアップ使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup use[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.25 ダイアルアップ自動接続設定

## (1) 設定

機能	ダイアルアップ自動接続を設定します。
コマンド	set mobile dialup auto
パラメータ	第1パラメータ：自動接続（0:行わない, 1:行う）
動作	実際の通信例 -set mobile dialup auto 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

## (2) 取得

機能	ダイアルアップ自動接続設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup auto
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup auto[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.26 ダイアルアップセッションキープ

## (1) 設定

機能	ダイアルアップのセッションキープを設定します。
コマンド	set mobile dialup keep
パラメータ	第1パラメータ：セッションキープ設定（0:行わない, 1:行う）
動作	実際の通信例 -set mobile dialup keep 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0
備考	ダイアルアップ自動接続設定を行う場合にのみ有効となります。

## (2) 取得

機能	ダイアルアップのセッションキープ設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup keep
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup keep[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.27 ダイアルアップ無通信監視

## (1) 設定

機能	ダイアルアップの無通信監視を設定します。
コマンド	set mobile dialup watch use
パラメータ	第1パラメータ：無通信監視設定（0:行わない, 1:行う）
動作	実際の通信例 -set mobile dialup watch use 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

## (2) 取得

機能	ダイアルアップの無通信監視の設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup watch use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup watch use[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.28 ダイアルアップ無通信監視時間

## (1) 設定

機能	ダイアルアップの無通信監視時間を設定します。
コマンド	set mobile dialup watch time
パラメータ	第1パラメータ：無通信監視時間（単位:秒）
動作	実際の通信例 -set mobile dialup watch time 60[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	600

## (2) 取得

機能	ダイアルアップの無通信監視時間の設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup watch time
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup watch time[CR] ←コマンドを入力。 60 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.29 ダイアルアップ NAT設定

## (1) 設定

機能	ダイアルアップで NAT を使用するかどうかを設定します。
コマンド	set mobile dialup nat
パラメータ	第 1 パラメータ : NAT 使用設定 (0:NAT 無効, 1:NAT 有効)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup nat 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

## (2) 取得

機能	ダイアルアップの NAT 設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup nat
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup nat[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.30 ダイアルアップ接続先

## (1) 設定

機能	ダイアルアップ接続先を設定します。
コマンド	set mobile dialup point
パラメータ	第 1 パラメータ : 電話番号 第 2 パラメータ : アカウント名 第 3 パラメータ : パスワード 第 4 パラメータ : 接続方式 (0:ダイアルアップ) 第 5 パラメータ : メモ
動作	実際の通信例 <使用しない例> -set mobile dialup point NOTUSE[CR] ←コマンドを入力。 - <設定例> -set mobile dialup point 03-1234-5678 test password 0 memo[CR] ←コマンドを入力。
初期値	無し
備考	NOTUSE の場合、第 2 パラメータ以降を省略してください。

## (2) 取得

機能	ダイアルアップ接続先の設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup point
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup point[CR] ←コマンドを入力。 03-1234-5678 test password 0 memo

## 6.4.31 ダイアルアップモード設定

## (1) 設定

機能	ダイアルアップモードを設定します。
コマンド	set mobile dialup mode
パラメータ	第1パラメータ：モード設定 (0:通常, 1:対向通信, 2:ビジネス mopera, 3:unnumbered)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup mode 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	ダイアルアップモードの設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup mode
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup mode[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.32 ダイアルアップ認証プロトコル設定

## (1) 設定

機能	ダイアルアップ認証プロトコルを設定します。
コマンド	set mobile dialup auth_protocol
パラメータ	第1パラメータ：認証設定 (2:相手に合わせる, 3:MS-CHAPv2)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup auth_protocol 3[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	2

## (2) 取得

機能	ダイアルアップ認証プロトコルの設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup auth_protocol
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup auth_protocol [CR] ←コマンドを入力。 2 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.33 ダイアルアップ暗号化設定

## (1) 設定

機能	ダイアルアップ暗号化方式を設定します。
コマンド	set mobile dialup enc
パラメータ	第1パラメータ：暗号化方式 (0:暗号化無効, 1:MPPE 128bit)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup enc 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	ダイアルアップ暗号化方式の設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup enc
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup enc[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.34 ダイアルアップ本体側IPアドレスモード設定

## (1) 設定

機能	ダイアルアップ本体側IPアドレスのモードを設定します。
コマンド	set mobile dialup wan_ip_mode
パラメータ	第1パラメータ：モード (0:自動取得, 1:IP固定)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup wan_ip_mode 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	ダイアルアップ本体側IPアドレスのモードの設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup wan_ip_mode
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup wan_ip_mode[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.35 ダイアルアップ本体側IPアドレス設定

## (1) 設定

機能	ダイアルアップ本体側 IP アドレスを設定します。
コマンド	set mobile dialup wan_ip
パラメータ	第 1 パラメータ : 本体側 IP アドレス
動作	実際の通信例 <pre>-set mobile dialup wan_ip 192.168.0.1[CR]</pre> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	ダイアルアップ本体側 IP アドレスを取得します。
コマンド	get mobile dialup wan_ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get mobile dialup wan_ip[CR]</pre> ←コマンドを入力。 192.168.0.1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.36 RAS着信使用設定

## (1) 設定

機能	RAS 着信の使用設定をします。
コマンド	set mobile ras use
パラメータ	第 1 パラメータ : 使用設定 (0:RAS 着信を使用しない, 1:RAS 着信を使用する)
動作	実際の通信例 <pre>-set mobile ras use 1[CR]</pre> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	RAS 着信使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile ras use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get mobile ras use[CR]</pre> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.37 RAS着番認証使用設定

## (1) 設定

機能	RAS 着信の着番認証使用設定をします。
コマンド	set mobile ras tel
パラメータ	第 1 パラメータ : 着番認証使用設定 (0:着番認証を行わない, 1:着番認証を行う)
動作	実際の通信例 <pre>-set mobile ras tel 1[CR]</pre> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	RAS 着信の着番認証使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile ras tel
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get mobile ras tel[CR]</pre> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.38 RAS着信モード設定

## (1) 設定

機能	RAS 着信のモード設定をします。
コマンド	set mobile ras mode
パラメータ	第1パラメータ：RAS 着信モード (0:通常, 1:対向通信, 2:ビジネス mopera, 3:unnumbered)
動作	実際の通信例 -set mobile ras mode 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	RAS 着信のモード設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile ras mode
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile ras mode[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.39 RAS着信認証プロトコル設定

## (1) 設定

機能	RAS 着信認証プロトコルを設定します。
コマンド	set mobile ras auth_protocol
パラメータ	第1パラメータ：プロトコル (0:CHAP, 1:PAP, 2:相手に合わせる, 3:MS-CHAPv2)
動作	実際の通信例 -set mobile ras auth_protocol 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	RAS 着信認証プロトコルの設定値を取得します。
コマンド	get mobile ras auth_protocol
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile ras auth_protocol[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.40 RAS着信暗号化方式設定

## (1) 設定

機能	RAS 着信暗号化方式を設定します。
コマンド	set mobile ras enc
パラメータ	第1パラメータ：暗号化方式 (0:暗号化無効, 1:MPPE 128bit)
動作	実際の通信例 -set mobile ras enc 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	RAS 着信暗号化方式の設定値を取得します。
コマンド	get mobile ras enc
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile ras enc[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.41 RASクライアントIPアドレス設定

## (1) 設定

機能	RASクライアントのIPアドレスを設定します。
コマンド	set mobile ras client_ip
パラメータ	第1パラメータ：クライアントのIPアドレス
動作	実際の通信例 -set mobile ras client_ip 192.168.0.1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	RASクライアントのIPアドレスを取得します。
コマンド	get mobile ras client_ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile ras client_ip[CR] ←コマンドを入力。 192.168.0.1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.42 RAS着信本体側IPアドレスモード設定

## (1) 設定

機能	RAS 着信本体側 IP アドレスのモードを設定します。
コマンド	<code>set mobile ras wan_ip_mode</code>
パラメータ	第1パラメータ：モード (0:自動取得, 1:IP固定)
動作	実際の通信例 <code>-set mobile ras wan_ip_mode 1[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0:自動取得

## (2) 取得

機能	RAS 着信本体側 IP アドレスのモードの設定値を取得します。
コマンド	<code>get mobile ras wan_ip_mode</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mobile ras wan_ip_mode[CR]</code> ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.43 RAS着信本体側IPアドレス設定

## (1) 設定

機能	RAS 着信本体側 IP アドレスを設定します。
コマンド	<code>set mobile ras wan_ip</code>
パラメータ	第1パラメータ：本体側 IP アドレス
動作	実際の通信例 <code>-set mobile ras wan_ip 192.168.0.1[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	RAS 着信本体側 IP アドレスの設定値を取得します。
コマンド	<code>get mobile ras wan_ip</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mobile ras wan_ip[CR]</code> ←コマンドを入力。 192.168.0.1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.44 RAS着信ID設定

## (1) 設定

機能	RAS 着信の ID を設定します。
コマンド	<code>set mobile ras id</code>
パラメータ	第1パラメータ：ID
動作	実際の通信例 <code>-set mobile ras id sample_id[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	RAS 着信 ID の設定値を取得します。
コマンド	<code>get mobile ras id</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mobile ras id[CR]</code> ←コマンドを入力。 sample_id ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.45 RAS着信パスワード設定

## (1) 設定

機能	RAS 着信のパスワードを設定します。
コマンド	<code>set mobile ras password</code>
パラメータ	第1パラメータ：パスワード
動作	実際の通信例 <code>-set mobile ras password sample[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	RAS 着信パスワードの設定値を取得します。
コマンド	<code>get mobile ras password</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mobile ras password[CR]</code> ←コマンドを入力。 sample ←現在の設定内容を出力。 -



## 6.4.48 WakeOn着信使用設定

## (1) 設定

機能	WakeOn 着信の使用設定をします。
コマンド	set mobile wakeon use
パラメータ	第1パラメータ：使用設定 (0:WakeOn 着信を使用しない, 1:WakeOn 着信を使用する)
動作	実際の通信例 -set mobile wakeon use 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	WakeOn 着信使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile wakeon use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile wakeon use[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.49 WakeOnメッセージ種別

## (1) 設定

機能	WakeOn メッセージの種別設定を行います。
コマンド	set mobile wakeon type
パラメータ	第1パラメータ：メッセージ種別 (0:WakeOn メッセージ, 1:音声着信)
動作	実際の通信例 -set mobile wakeon type 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	WakeOn メッセージの種別の設定値を取得します。
コマンド	get mobile wakeon type
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile wakeon type[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.50 WakeOn認証キー

## (1) 設定

機能	WakeOn の認証キーの設定を行います。
コマンド	set mobile wakeon key
パラメータ	第1パラメータ：認証キー
動作	実際の通信例 -set mobile wakeon key KEY_WAKEON[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	WakeOn の認証キーの設定値を取得します。
コマンド	get mobile wakeon key
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile wakeon key[CR] ←コマンドを入力。 KEY_WAKEON ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.51 WakeOn着番認証使用設定

## (1) 設定

機能	WakeOn の着番認証使用設定を行います。
コマンド	set mobile wakeon tel
パラメータ	第1パラメータ：着番認証使用設定 (0:着番認証を行わない, 1:着番認証を行う)
動作	実際の通信例 -set mobile wakeon tel 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	WakeOn の着番認証使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile wakeon tel
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile wakeon tel[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -



## 6.4.55 シリアルフロー制御設定

## (1) 設定

機能	シリアルフロー制御設定をします。
コマンド	set serial flow
パラメータ	第1パラメータ：フロー制御 (0:なし, 1:ハードウェア, 2:XON/XOFF)
動作	実際の通信例 -set serial flow 1 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

## (2) 取得

機能	シリアルフロー制御設定の設定値を取得します。
コマンド	get serial flow
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get serial flow [CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.56 シリアルデータビット設定

## (1) 設定

機能	シリアルデータビット設定をします。
コマンド	set serial databit
パラメータ	第1パラメータ：データビット (0:7ビット, 1:8ビット)
動作	実際の通信例 -set serial databit 1 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

## (2) 取得

機能	シリアルデータビット設定の設定値を取得します。
コマンド	get serial databit
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get serial databit [CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.57 シリアルパリティ設定

## (1) 設定

機能	シリアルパリティ設定をします。
コマンド	set serial parity
パラメータ	第1パラメータ：パリティ (0:なし, 1:奇数パリティ, 2:偶数パリティ)
動作	実際の通信例 -set serial parity 1 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	シリアルパリティ設定の設定値を取得します。
コマンド	get serial parity
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get serial parity [CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.58 シリアルストップビット設定

## (1) 設定

機能	シリアルストップビット設定をします。
コマンド	set serial stopbit
パラメータ	第1パラメータ：ストップビット (1:1ビット, 2:2ビット)
動作	実際の通信例 -set serial stopbit 1 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

## (2) 取得

機能	シリアルストップビット設定の設定値を取得します。
コマンド	get serial stopbit
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get serial stopbit [CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.59 シリアルモード設定

## (1) 設定

機能	シリアルモード設定をします。
コマンド	set serial mode
パラメータ	第1パラメータ：モード (0:モデム, 1:ルータ, 2:LAN側プロトコル変換クライアント, 3:LAN側プロトコル変換サーバ)
動作	実際の通信例 -set serial mode 1 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	シリアルモード設定の設定値を取得します。
コマンド	get serial mode
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get serial mode [CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.60 シリアル無通信監視設定

## (1) 設定

機能	シリアル無通信監視設定をします。
コマンド	set serial watch use
パラメータ	第1パラメータ：シリアル無通信監視 (0:行わない, 1:行う)
動作	実際の通信例 -set serial watch use 1 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	シリアル無通信監視設定の設定値を取得します。
コマンド	get serial watch use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get serial watch use [CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.61 シリアル無通信監視時間設定

## (1) 設定

機能	シリアル無通信監視時間設定をします。
コマンド	set serial watch time
パラメータ	第1パラメータ：シリアル無通信監視時間 (単位:秒)
動作	実際の通信例 -set serial watch time 600 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	60

## (2) 取得

機能	シリアル無通信監視時間設定の設定値を取得します。
コマンド	get serial watch time
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get serial watch time [CR] ←コマンドを入力。 600 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.62 シリアル後位端末接続方式設定

## (1) 設定

機能	シリアル後位端末接続方式設定をします。
コマンド	set serial dte
パラメータ	第1パラメータ：後位端末接続方式 (0:シリアル, 1:LAN)
動作	実際の通信例 -set serial dte 0 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	シリアル後位端末接続方式設定の設定値を取得します。
コマンド	get serial dte
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get serial dte [CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.63 シリアルのプロトコル設定

## (1) 設定

機能	シリアルのプロトコル設定をします。
コマンド	set serial proto
パラメータ	第1パラメータ：プロトコル (0:UDP, 1:TCP)
動作	実際の通信例 <i>-set serial proto 1 [CR]</i> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	シリアルのプロトコル設定の設定値を取得します。
コマンド	get serial proto
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <i>-get serial proto [CR]</i> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.64 シリアルの宛先ホスト設定

## (1) 設定

機能	シリアルの宛先ホスト設定をします。
コマンド	set serial host
パラメータ	第1パラメータ：宛先ホスト
動作	実際の通信例 <i>-set serial host 192.168.62.200 [CR]</i> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	シリアルの宛先ホスト設定の設定値を取得します。
コマンド	get serial host
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <i>-get serial host [CR]</i> ←コマンドを入力。 192.168.62.200 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.65 シリアルの宛先ポート設定

## (1) 設定

機能	シリアルの宛先ポート設定をします。
コマンド	set serial dport
パラメータ	第1パラメータ：宛先ポート
動作	実際の通信例 <i>-set serial dport 2142 [CR]</i> ←コマンドを入力。 -
初期値	65535

## (2) 取得

機能	シリアルの宛先ポート設定の設定値を取得します。
コマンド	get serial dport
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <i>-get serial dport [CR]</i> ←コマンドを入力。 2142 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.66 シリアルの待受ポート設定

## (1) 設定

機能	シリアルの待受ポート設定をします。
コマンド	set serial wport
パラメータ	第1パラメータ：待受ポート
動作	実際の通信例 <i>-set serial wport 2141 [CR]</i> ←コマンドを入力。 -
初期値	65535

## (2) 取得

機能	シリアルの待受ポート設定の設定値を取得します。
コマンド	get serial wport
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <i>-get serial wport [CR]</i> ←コマンドを入力。 2141 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.67 アドレス解決使用設定

## (1) 設定

機能	アドレス解決を使用するかどうかを設定します。
コマンド	<code>set service address use</code>
パラメータ	第1パラメータ：アドレス解決使用設定 (0:使用しない, 1:使用する)
動作	実際の通信例 <code>-set service address use 1[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	アドレス解決使用設定の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service address use</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service address use[CR]</code> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.68 アドレス解決更新時間

## (1) 設定

機能	アドレス解決の更新時間を設定します。
コマンド	<code>set service address time</code>
パラメータ	第1パラメータ：更新時間(単位:分) ※0の場合は自動更新
動作	実際の通信例 <code>-set serviceaddress time 0[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	アドレス解決の更新時間設定値を取得します。
コマンド	<code>get service address time</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service address time[CR]</code> ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.69 アドレス解決種別

## (1) 設定

機能	アドレス解決の種別を設定します。
コマンド	<code>set service address type</code>
パラメータ	第1パラメータ：アドレス解決種別 (0:メール, 1:ダイナミックDNS)
動作	実際の通信例 <code>-set service address type 1[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	アドレス解決種別の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service address type</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service address type[CR]</code> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.70 アドレス解決送信先メールアドレス

## (1) 設定

機能	アドレス解決の送信先メールアドレスを設定します。
コマンド	<code>set service address send_to</code>
パラメータ	第1パラメータ：送信先メールアドレス
動作	実際の通信例 <code>-set service address send_to sample@abcd.ne.jp[CR]</code> ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	アドレス解決送信先メールアドレスの設定値を取得します。
コマンド	<code>get service address send_to</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service address send_to[CR]</code> ←コマンドを入力。 sample@abcd.ne.jp ←現在の設定内容を出力。 -



## 6.4.74 アドレス解決ダイナミックDNS種類

## (1) 設定

機能	アドレス解決のダイナミック DNS の種類を設定します。
コマンド	<code>set service address ddns_type</code>
パラメータ	第1パラメータ：種類 (0:どこでもカメラ, 1:DynDNS, 2:suncomm. DDNS)
動作	実際の通信例 <code>-set service address ddns_type 0[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	アドレス解決のダイナミック DNS の種類を取得します。
コマンド	<code>get service address ddns_type</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service address ddns_type[CR]</code> ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.75 アドレス解決ダイナミックDNSサーバ名

## (1) 設定

機能	アドレス解決のダイナミック DNS のサーバ名を設定します。
コマンド	<code>set service address server</code>
パラメータ	第1パラメータ：ダイナミック DNS サーバ名
動作	実際の通信例 <code>-set service address server ddns.suncomm.co.jp[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	アドレス解決のダイナミック DNS のサーバ名を取得します。
コマンド	<code>get service address server</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service address server[CR]</code> ←コマンドを入力。 ddns.suncomm.co.jp ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.76 アドレス解決ダイナミックDNSホスト名

## (1) 設定

機能	アドレス解決のダイナミック DNS のホスト名を設定します。
コマンド	<code>set service address host</code>
パラメータ	第1パラメータ：ダイナミック DNS ホスト名
動作	実際の通信例 <code>-set service address host abcdef</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	アドレス解決のダイナミック DNS のホスト名を取得します。
コマンド	<code>get service address host</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service address host[CR]</code> ←コマンドを入力。 abcdef ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.77 アドレス解決ダイナミックDNSアカウント

## (1) 設定

機能	アドレス解決のダイナミック DNS のアカウントを設定します。
コマンド	<code>set service address account</code>
パラメータ	第1パラメータ：ダイナミック DNS アカウント
動作	実際の通信例 <code>-set service address account sample</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	アドレス解決のダイナミック DNS のアカウントを取得します。
コマンド	<code>get service address account</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service address account[CR]</code> ←コマンドを入力。 sample ←現在の設定内容を出力。 -





## 6.4.86 TELNET LANポートアクセス許可設定

## (1) 設定

機能	TELNET の LAN ポートアクセスを許可するかどうかを設定します。
コマンド	set service telnet lan
パラメータ	第 1 パラメータ：設定内容 (0：許可しない 1：許可する)
動作	実際の通信例 -set service telnet lan 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

## (2) 取得

機能	TELNET の LAN ポートアクセス許可設定の設定値を取得します。
コマンド	get service telnet lan
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service telnet lan[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.87 TELNET外部アクセス許可設定

## (1) 設定

機能	TELNET の外部アクセスを許可するかどうかを設定します。
コマンド	set service telnet remote
パラメータ	第 1 パラメータ：設定内容 (0：許可しない 1：許可する)
動作	実際の通信例 -set service telnet remote 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	TELNET 外部アクセス許可設定の設定値を取得します。
コマンド	get service telnet remote
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service telnet remote[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.88 TELNETポート

## (1) 設定

機能	TELNET サービスで使用するポート番号を設定します。
コマンド	set service telnet port
パラメータ	第 1 パラメータ：ポート番号
動作	実際の通信例 -set service telnet port 23[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	23

## (2) 取得

機能	TELNET サービスで使用しているポート番号を取得します。
コマンド	get service telnet port
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service telnet port[CR] ←コマンドを入力。 23 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.89 WEBサービス使用設定

## (1) 設定

機能	WEB サービスを使用するかどうかを設定します。
コマンド	set service web use
パラメータ	第 1 パラメータ：使用設定 (0：使用しない 1：使用する)
動作	実際の通信例 -set service web use 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

## (2) 取得

機能	WEB サービス使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get service web use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service web use[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.90 WEB LANポートアクセス許可設定

## (1) 設定

機能	WEBサービスのLANポートアクセスを許可するかどうかを設定します。
コマンド	set service web lan
パラメータ	第1パラメータ：設定内容（0：許可しない 1：許可する）
動作	実際の通信例 -set service web lan 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

## (2) 取得

機能	WEBサービスのLANポートアクセス許可設定の設定値を取得します。
コマンド	get service web lan
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service web lan[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.91 WEB外部アクセス許可設定

## (1) 設定

機能	WEBサービスの外部アクセスを許可するかどうかを設定します。
コマンド	set service web remote
パラメータ	第1パラメータ：設定内容（0：許可しない 1：許可する）
動作	実際の通信例 -set service web remote 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	WEB外部アクセス許可設定の設定値を取得します。
コマンド	get service web remote
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service web remote[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.92 WEBサービスポート

## (1) 設定

機能	WEBサービスで使用するポート番号を設定します。
コマンド	set service web port
パラメータ	第1パラメータ：ポート番号
動作	実際の通信例 -set service web port 80[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	80

## (2) 取得

機能	WEBサービスで使用しているポート番号を取得します。
コマンド	get service web port
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service web port[CR] ←コマンドを入力。 80 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.93 WANハートビート使用設定

## (1) 設定

機能	WANハートビートを使用するかどうかを設定します。
コマンド	set service hb use
パラメータ	第1パラメータ：使用設定（0：使用しない 1：使用する）
動作	実際の通信例 -set service hb use 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	WANハートビート使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get service hb use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service hb use[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.94 WANハートビート監視時間

## (1) 設定

機能	WAN ハートビートの監視時間を設定します。
コマンド	<code>set service hb time</code>
パラメータ	第1パラメータ：監視時間（単位:分）
動作	実際の通信例 <code>-set service hb time 10[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	1

## (2) 取得

機能	WAN ハートビート監視時間の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service hb time</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service hb time[CR]</code> ←コマンドを入力。 10 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.95 WANハートビート無応答時動作

## (1) 設定

機能	WAN ハートビートの無応答時の動作を設定します。
コマンド	<code>set service hb mode</code>
パラメータ	第1パラメータ：無応答時動作（0:リセット, 1:ログに記録）
動作	実際の通信例 <code>-set service hb mode 0[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	1

## (2) 取得

機能	WAN ハートビート無応答時動作の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service hb mode</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service hb mode[CR]</code> ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.96 WANハートビート監視先

## (1) 設定

機能	WAN ハートビートの監視先を設定します。
コマンド	<code>set service hb connect</code>
パラメータ	第1パラメータ：監視先（0:WANのゲートウェイ, 1:手動設定）
動作	実際の通信例 <code>-set service hb connect 0[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	WAN ハートビート監視先の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service hb connect</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service hb connect[CR]</code> ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.97 WANハートビート監視先IPアドレス

## (1) 設定

機能	WAN ハートビートの監視先 IP アドレスを設定します。
コマンド	<code>set service hb ip</code>
パラメータ	第1パラメータ：監視先 IP アドレス
動作	実際の通信例 <code>-set service hb ip 123.123.12.3[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	WAN ハートビート監視先 IP アドレスを取得します。
コマンド	<code>get service hb ip</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service hb ip[CR]</code> ←コマンドを入力。 123.123.12.3 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.98 パケット通信ログ使用設定

## (1) 設定

機能	パケット通信ログを使用するかどうかを設定します。
コマンド	set service log use_packet
パラメータ	第1パラメータ：使用設定（0：使用しない 1：使用する）
動作	実際の通信例 -set service log use_packet 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	パケット通信ログ使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get service log use_packet
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service log use_packet[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.99 Syslogサーバ

## (1) 設定

機能	Syslogサーバに送信するかどうかを設定します。
コマンド	set service log server
パラメータ	第1パラメータ：使用設定（0：送信しない, 1：送信する）
動作	実際の通信例 -set service log server 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	Syslogサーバ設定の設定値を取得します。
コマンド	get service log server
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service log server[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.100 SyslogサーバIPアドレス

## (1) 設定

機能	SyslogサーバのIPアドレスを設定します。
コマンド	set service log server_ip
パラメータ	第1パラメータ：SyslogサーバIPアドレス
動作	実際の通信例 -set service log server_ip 123.123.12.3[CR] ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	SyslogサーバIPアドレスを取得します。
コマンド	get service log server_ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service log server_ip[CR] ←コマンドを入力。 123.123.12.3 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.101 PPPログ使用設定

## (1) 設定

機能	PPPログを使用するかどうかを設定します。
コマンド	set service log ppp
パラメータ	第1パラメータ：使用設定（0：使用しない 1：使用する）
動作	実際の通信例 -set service log ppp 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	PPPログ使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get service log ppp
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service log ppp [CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.102 USBログ使用設定

## (1) 設定

機能	USB ログを使用するかどうかを設定します。
コマンド	<code>set service log usb</code>
パラメータ	第1パラメータ：使用設定 (0：使用しない 1：使用する)
動作	実際の通信例 <code>-set service log usb 1[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	USB ログ使用設定の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service log usb</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service log usb [CR]</code> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.103 蓄積サービス使用設定

## (1) 設定

機能	蓄積サービスを使用するかどうかを設定します。
コマンド	<code>set service stock use</code>
パラメータ	第1パラメータ：使用設定 (0：使用しない 1：使用する)
動作	実際の通信例 <code>-set service stock use 1 [CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	蓄積サービス使用設定の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service stock use</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service stock use [CR]</code> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.104 蓄積サービスの送信方式設定

## (1) 設定

機能	蓄積サービスの送信方式を設定します。
コマンド	<code>set service stock type</code>
パラメータ	第1パラメータ：送信方式 (0:http, 1:https, 2:ftp)
動作	実際の通信例 <code>-set service stock type 1 [CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	蓄積サービスの送信方式の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service stock type</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service stock type [CR]</code> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.105 蓄積サービスの送信先サーバ設定

## (1) 設定

機能	蓄積サービスの送信先サーバを設定します。
コマンド	<code>set service stock host</code>
パラメータ	第1パラメータ：送信先サーバ
動作	実際の通信例 <code>-set service stock host 11.22.33.44[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	蓄積サービスの送信先サーバ設定の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service stock host</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service stock host [CR]</code> ←コマンドを入力。 11.22.33.44 ←現在の設定内容を出力。 -



## 6.4.110 蓄積サービスの認証設定

## (1) 設定

機能	蓄積サービスの認証の使用設定をします。
コマンド	set service stock auth use
パラメータ	第1パラメータ：認証 (0:行わない, 1:行う)
動作	実際の通信例 -set service stock auth use 1 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	蓄積サービスの認証の使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get service stock auth use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service stock auth use [CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.111 蓄積サービスの認証方式設定

## (1) 設定

機能	蓄積サービスの認証方式を設定します。
コマンド	set service stock auth type
パラメータ	第1パラメータ：認証方式 (0:Basic 認証 1:Digest 認証)
動作	実際の通信例 -set service stock auth type 1 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	蓄積サービスの認証方式設定の設定値を取得します。
コマンド	get service stock auth type
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service stock auth type [CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.112 蓄積サービスの認証用ユーザ名設定

## (1) 設定

機能	蓄積サービスの認証用ユーザ名を設定します。
コマンド	set service stock username
パラメータ	第1パラメータ：ユーザ名
動作	実際の通信例 -set service stock username testuser [CR] ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	蓄積サービスの認証用ユーザ名設定の設定値を取得します。
コマンド	get service stock username
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service stock username [CR] ←コマンドを入力。 testuser ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.113 蓄積サービスの認証用パスワード設定

## (1) 設定

機能	蓄積サービスの認証用パスワードを設定します。
コマンド	set service stock password
パラメータ	第1パラメータ：パスワード
動作	実際の通信例 -set service stock password testpasswd [CR] ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	蓄積サービスの認証用パスワード設定の設定値を取得します。
コマンド	get service stock password
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service stock password [CR] ←コマンドを入力。 testpasswd ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.114 蓄積サービスの保存サイズ上限設定

## (1) 設定

機能	蓄積サービスの保存サイズ上限を設定します。
コマンド	set service stock size
パラメータ	第1パラメータ：保存サイズ上限(単位：kbyte)
動作	実際の通信例 -set service stock size 50[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	100

## (2) 取得

機能	蓄積サービスの保存サイズ上限設定の設定値を取得します。
コマンド	get service stock size
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service stock size [CR] ←コマンドを入力。 50 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.115 蓄積サービスの外部からのデータ取得許可設定

## (1) 設定

機能	蓄積サービスの外部からのデータ取得許可を設定します。
コマンド	set service stock remote
パラメータ	第1パラメータ：外部からのデータ取得許可 (0:許可しない, 1:許可する)
動作	実際の通信例 -set service stock remote 1 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	蓄積サービスの外部からのデータ取得許可設定の設定値を取得します。
コマンド	get service stock remote
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service stock remote [CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.116 蓄積サービスのWakeOn着信時の送信設定

## (1) 設定

機能	蓄積サービスのWakeOn着信時の送信を設定します。
コマンド	set service stock wakeon
パラメータ	第1パラメータ：WakeOn着信時の送信設定 (0:送信しない, 1:送信する)
動作	実際の通信例 -set service stock wakeon 1 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	蓄積サービスのWakeOn着信時の送信設定の設定値を取得します。
コマンド	get service stock wakeon
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service stock wakeon [CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.117 蓄積サービスの送信タイミング設定

## (1) 設定

機能	蓄積サービスの送信タイミングを設定します。
コマンド	set service stock timing select
パラメータ	第1パラメータ：送信タイミング(0:間隔指定, 1:日時指定)
動作	実際の通信例 -set service stock timing select 1 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	蓄積サービスの送信タイミング設定の設定値を取得します。
コマンド	get service stock timing select
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service stock timing select [CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.118 蓄積サービスの送信間隔設定

## (1) 設定

機能	蓄積サービスの送信間隔を設定します。
コマンド	<code>set service stock timing interval</code>
パラメータ	第1パラメータ：送信間隔（単位：分）
動作	実際の通信例 <code>-set service stock timing interval 5 [CR]</code> ↑コマンドを入力。 -
初期値	60

## (2) 取得

機能	蓄積サービスの送信間隔設定の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service stock timing interval</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service stock timing interval [CR]</code> ↑コマンドを入力。 5 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.119 蓄積サービスの送信日時設定

## (1) 設定

機能	蓄積サービスの送信日時を設定します。
コマンド	<code>set service stock timing daytime</code>
パラメータ	第1パラメータ：管理番号（1~8） 第2パラメータ：曜日 （0:毎日, 1:月曜日, 2:火曜日, 3:水曜日, 4:木曜日, 5:金曜日, 6:土曜日, 7:日曜日） 第3パラメータ：時刻（HHMM）
動作	実際の通信例 〈使用しない例〉 <code>-set service stock timing daytime 1 NOTUSE[CR]</code> ↑コマンドを入力。 - 〈設定例〉 <code>-set service stock timing daytime 1 0 2359 [CR]</code> ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し
備考	NOTUSEの場合、第3パラメータ以降を省略してください。

## (2) 取得

機能	蓄積サービスの送信日時設定の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service stock timing daytime</code>
パラメータ	第1パラメータ：管理番号（1~8）
動作	実際の通信例 <code>-get service stock timing daytime 1 [CR]</code> ↑コマンドを入力。 0 2359 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.120 IPSecパススルー

## (1) 設定

機能	IPSec パススルーを設定します。
コマンド	set network through ipsec
パラメータ	第1パラメータ：使用設定 (0:行わない, 1:行う)
動作	実際の通信例 -set network through ipsec 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	IPSec パススルーの設定値を取得します。
コマンド	get network through ipsec
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get network through ipsec[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.121 PPTPパススルー

## (1) 設定

機能	PPTP パススルーを設定します。
コマンド	set network through pptp
パラメータ	第1パラメータ：使用設定 (0:行わない, 1:行う)
動作	実際の通信例 -set network through pptp 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	PPTP パススルーの設定値を取得します。
コマンド	get network through pptp
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get network through pptp[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.122 スタティックルーティング

## (1) 設定

機能	スタティックルーティングを設定します。
コマンド	set network routing
パラメータ	第1パラメータ：設定番号 (1~32) 第2パラメータ：ネットワークアドレス (xxx.xxx.xxx.xxx) 第3パラメータ：サブネットマスク (xxx.xxx.xxx.xxx) 第4パラメータ：ゲートウェイ (xxx.xxx.xxx.xxx) 第5パラメータ：インターフェース (4:LAN) (固定) 第6パラメータ：メモ
動作	実際の通信例 <使用しない例> -set network routing 1 NOTUSE[CR] ←コマンドを入力。 - <設定例> -set network routing 1 192.168.2.0 255.255.255.0 192.168.62.100 4 memo[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し
備考	NOTUSE の場合、第3パラメータ以降を省略してください。

## (2) 取得

機能	スタティックルーティングの設定値を取得します。
コマンド	get network routing
パラメータ	第1パラメータ：設定番号 (1~32)
動作	実際の通信例 -get network routing 1[CR] ←コマンドを入力。 192.168.2.0 255.255.255.0 192.168.62.100 4 memo ↑現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.123 フィルタリングポリシー

## (1) 設定

機能	フィルタリングポリシーのモードを設定します。
コマンド	set network filtering mode
パラメータ	第1パラメータ : 設定モード (0:未設定を通す, 1:未設定を遮断する)
動作	実際の通信例 -set network filtering mode 0[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1 (未設定を遮断する)

## (2) 取得

機能	フィルタリングポリシーのモードを取得します。
コマンド	get network filtering mode
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get network filtering mode ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.124 フィルタリングリスト

## (1) 設定

機能	フィルタリングのリストを設定します。
コマンド	set network filtering list
パラメータ	第1パラメータ : 設定番号 (1~32) 第2パラメータ : インターフェース (4:全て) 第3パラメータ : 方向 (0:受信, 1:送信) 第4パラメータ : 動作 (0:許可, 1:遮断) 第5パラメータ : プロトコル (0:全て, 1:UDP, 2:TCP, 3:ICMP, 4:ユーザ指定) 第6パラメータ : ユーザ指定プロトコル番号 (0~255, *:無指定) 第7パラメータ : 宛先 IP アドレス (xxx.xxx.xxx.xxx, *:無指定) 第8パラメータ : 宛先ポート番号・開始 (0~65535, *:無指定) 第9パラメータ : 宛先ポート番号・終了 (0~65535, *:無指定) 第10パラメータ : メモ (16byte 迄の文字列, *:無指定)
動作	実際の通信例 <使用しない例> -set network filtering list 10 NOTUSE[CR] ↑コマンドを入力。 - <設定例> -set network filtering list 10 4 1 0 3 * 192.168.2.1 0 65535 sample[CR] ←コマンドを入力。 -
<初期値> 取扱説明書のフィルタリングのページを参照ください。	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● NOTUSE の場合、第3パラメータ以降を省略してください。</li> <li>● 第6パラメータ以降で指定指定しない項目は*を入力してください。</li> <li>● 「ユーザ指定プロトコル番号」は「プロトコル」で「4:ユーザ指定」を設定した場合に設定してください。通常は無指定にしてください。</li> </ul>

## (2) 取得

機能	フィルタリングのリストの設定を取得します。
コマンド	get network filtering list
パラメータ	第1パラメータ : 設定番号 (1~32)
動作	実際の通信例 -get network filtering list 1[CR] ←コマンドを入力。 4 1 0 2 * * 80 80 HTTP ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.125 バーチャルサーバ

## (1) 設定

機能	バーチャルサーバを設定します。
コマンド	set network vs
パラメータ	第1パラメータ：設定番号（1～16） 第2パラメータ：インターフェース（2:モバイル通信端末） 第3パラメータ：プロトコル（1:UDP, 2:TCP） 第4パラメータ：ポート番号 第5パラメータ：サーバのIPアドレス（xxx.xxx.xxx.xxx） 第6パラメータ：メモ
動作	実際の通信例 〈使用しない例〉 -set network vs 1 NOTUSE[CR] ←コマンドを入力。 - 〈設定例〉 -set network vs 1 2 2 80 192.168.62.11 HTTP_server[CR] - ↑コマンドを入力。
初期値	無し
備考	NOTUSEの場合、第3パラメータ以降を省略してください。

## (2) 取得

機能	バーチャルサーバの設定値を取得します。
コマンド	get network vs
パラメータ	第1パラメータ：設定番号（1～16）
動作	実際の通信例 -get network vs 1[CR] ←コマンドを入力。 2 2 80 192.168.62.11 HTTP_server ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.126 DMZ使用設定

## (1) 設定

機能	DMZを使用するかどうかを設定します。
コマンド	set network dmz use
パラメータ	第1パラメータ：使用設定（0:使用しない, 1:使用する）
動作	実際の通信例 -set network dmz use 0[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

## (2) 取得

機能	DMZ使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get network dmz use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get network dmz use[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.127 DMZプライベートIPアドレス

## (1) 設定

機能	DMZを使用する機器のプライベートIPアドレスを設定します。
コマンド	set network dmz ip
パラメータ	第1パラメータ：IPアドレス（xxx.xxx.xxx.xxx）
動作	実際の通信例 -set network dmz ip 192.168.62.13[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

## (2) 取得

機能	DMZプライベートIPアドレスの設定値を取得します。
コマンド	get network dmz ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get network dmz ip[CR] ←コマンドを入力。 192.168.62.13 ←現在の設定内容を出力。 -

## 6.4.128 VPN

## (1) 設定

機能	VPNを設定します。
コマンド	set network vpn
パラメータ	<p>第1パラメータ：設定番号（1～16）</p> <p>第2パラメータ：プロトコル（0:IPsec）</p> <p>第3パラメータ：インターフェース（2:モバイル通信端末）</p> <p>第4パラメータ：相手IPアドレス（xxx.xxx.xxx.xxx）</p> <p>第5パラメータ：相手ネットワーク（xxx.xxx.xxx.xxx）</p> <p>第6パラメータ：相手ネットマスク（xxx.xxx.xxx.xxx）</p> <p>第7パラメータ：モード （0:メインモード，1:アグレッシブモード）</p> <p>第8パラメータ：ハッシュアルゴリズム（0:MD5,1:SHA-1）</p> <p>第9パラメータ：PreSharedKey（半角64文字までの文字列）</p> <p>第10パラメータ：セッションキープ（0:行わない，1:行う）</p> <p>第11パラメータ：Rooster側識別子（半角64文字までの文字列） （*:無指定）</p> <p>第12パラメータ：接続種別（0:イニシエータ，1:レスポнда）</p> <p>第13パラメータ：Rooster側IPアドレス（xxx.xxx.xxx.xxx） （*:無指定）</p> <p>第14パラメータ：Rooster側ネットワーク（xxx.xxx.xxx.xxx） （*:無指定）</p> <p>第15パラメータ：Rooster側ネットマスク（xxx.xxx.xxx.xxx） （*:無指定）</p> <p>第16パラメータ：相手側識別子（半角64文字までの文字列） （*:無指定）</p> <p>第17パラメータ：IKE Life Time（秒単位）</p> <p>第18パラメータ：IPSec Life Time（秒単位）</p> <p>第19パラメータ：キープアライブ（0:行わない，1:行う）</p> <p>第20パラメータ：キープアライブ監視先IPアドレス1 （*:無指定）</p> <p>第21パラメータ：キープアライブ監視先IPアドレス2 （*:無指定）</p> <p>第22パラメータ：メモ（省略可能）</p>
動作	<p>実際の通信例</p> <p>&lt;使用しない例&gt;</p> <pre>-set network vpn 1 NOTUSE[CR] ←コマンドを入力。 -</pre> <p>&lt;設定例&gt; <pre>-set network vpn 1 0 2 1.2.3.4 192.168.65.0 255.255.255.0 0 0 PRESHAREDKEY 0 testid2@test 0 9.8.7.6 192.168.62.0 255.255.255.0 testid1@test 3600 28800 1 192.168.65.100 * memo[CR] ←コマンドを入力。 -</pre> </p>
初期値	無し

備考	<p>指定番号の設定を削除する場合、第2パラメータにNOTUSEと指定し、第3パラメータ以降を省略してください。</p> <p>第4・第13パラメータは文字列での設定も可能です。</p>
対象ファームウェアバージョン：Version：2.00以降	

## (2) 取得

機能	VPNの設定値を取得します。
コマンド	get network vpn
パラメータ	第1パラメータ：設定番号（1～16）
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-get network vpn 1[CR] ←コマンドを入力。 0 2 1.2.3.4 192.168.65.0 255.255.255.0 0 0 PRESHAREDKEY 0 testid2@test 0 9.8.7.6 192.168.62.0 255.255.255.0 testid1@test 3600 28800 1 192.168.65.100 * memo - ↑現在の設定内容を出力。</pre>

## 6.4.129 VPNバックアップ

## (1) 設定

機能	VPN バックアップを設定します。
コマンド	set network vpn_backup
パラメータ	<p>第 1 パラメータ：設定番号 (1~16)</p> <p>第 2 パラメータ：プロトコル (0:IPsec)</p> <p>第 3 パラメータ：インターフェース (2:モバイル通信端末) ※動作に無関係</p> <p>第 4 パラメータ：相手 IP アドレス (xxx.xxx.xxx.xxx)</p> <p>第 5 パラメータ：相手ネットワーク (xxx.xxx.xxx.xxx)</p> <p>第 6 パラメータ：相手ネットマスク (xxx.xxx.xxx.xxx)</p> <p>第 7 パラメータ：モード (0:メインモード, 1:アグレッシブモード)</p> <p>第 8 パラメータ：ハッシュアルゴリズム (0:MD5, 1:SHA-1)</p> <p>第 9 パラメータ：PreSharedKey (半角 64 文字までの文字列)</p> <p>第 10 パラメータ：セッションキープ (0:行わない, 1:行う) ※動作に無関係</p> <p>第 11 パラメータ：Rooster 側識別子 (半角 64 文字までの文字列) (*:無指定)</p> <p>第 12 パラメータ：接続種別 (0:イニシエータ, 1:レスポнда) ※動作に無関係</p> <p>第 13 パラメータ：Rooster 側 IP アドレス (xxx.xxx.xxx.xxx) (*:無指定)</p> <p>第 14 パラメータ：Rooster 側ネットワーク (xxx.xxx.xxx.xxx) (*:無指定)</p> <p>第 15 パラメータ：Rooster 側ネットマスク (xxx.xxx.xxx.xxx) (*:無指定)</p> <p>第 16 パラメータ：相手側識別子 (半角 64 文字までの文字列) (*:無指定)</p> <p>第 17 パラメータ：IKE Life Time (秒単位)</p> <p>第 18 パラメータ：IPSec Life Time (秒単位)</p> <p>第 19 パラメータ：キープアライブ (0:行わない, 1:行う)</p> <p>第 20 パラメータ：キープアライブ監視先 IP アドレス 1 (*:無指定)</p> <p>第 21 パラメータ：キープアライブ監視先 IP アドレス 2 (*:無指定)</p> <p>第 22 パラメータ：メモ (省略可能)</p>
動作	<p>実際の通信例</p> <p>&lt;使用しない例&gt;</p> <pre>-set network vpn_backup 1 NOTUSE[CR] ←コマンドを入力。</pre> <p>-</p> <p>&lt;設定例&gt;</p> <pre>-set network vpn_backup 1 0 2 1.2.3.4 192.168.65.0 255.255.255.0 0 1 PRESHAREDKEY 0 testid2@test 0 9.8.7.6 192.168.62.0 255.255.255.0 testid1@test 3600 28800 1</pre>

	192.168.65.100 * memo[CR] ←コマンドを入力。
初期値	無し
備考	<p>指定番号の設定を削除する場合、第 2 パラメータに NOTUSE と指定し、第 3 パラメータ以降を省略してください。</p> <p>VPN が設定されている番号にのみ設定出来ます。</p> <p>セッションキープに関しては、ここでの設定に関係なく VPN (メイン) 側の設定で動作します。</p> <p>第 4・第 13 パラメータは文字列での設定も可能です。</p>
対象ファームウェアバージョン：Version：2.00 以降	

## (2) 取得

機能	VPN バックアップの設定値を取得します。
コマンド	get network vpn_backup
パラメータ	第 1 パラメータ：設定番号 (1~16)
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-get network vpn_backup 1[CR] ←コマンドを入力。 0 2 1.2.3.4 192.168.65.0 255.255.255.0 0 1 PRESHAREDKEY 0 testid2@test 0 9.8.7.6 192.168.62.0 255.255.255.0 testid1@test 3600 28800 1 192.168.65.100 * memo ↑現在の設定内容を出力。</pre> <p>-</p>

## 6.4.130 VPNキープアライブ時間

## (1) 設定

機能	VPN のキープアライブ時間を設定します。
コマンド	set network vpn_conf keepalive_time
パラメータ	第 1 パラメータ：キープアライブ時間 (単位：秒)
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-set network vpn_conf keepalive_time 10[CR] ↑コマンドを入力。</pre> <p>-</p>
初期値	10
備考	10 以上を設定してください

## (2) 取得

機能	VPN のキープアライブ時間の設定値を取得します。
コマンド	get network vpn_conf keepalive_time
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-get network vpn_conf keepalive_time[CR]←コマンドを入力。 10 ←現在の設定内容を出力。</pre> <p>-</p>

## 6.4.131 VPNキープアライブ回数

## (1) 設定

機能	VPNのキープアライブ回数を設定します。
コマンド	set network vpn_conf keepalive_count
パラメータ	第1パラメータ : キープアライブ回数
動作	実際の通信例 <pre>-set network vpn_conf keepalive_count 6[CR]</pre> <p style="text-align: right;">↑コマンドを入力。</p> <p style="text-align: center;">-</p>
初期値	6

## (2) 取得

機能	VPNのキープアライブ回数の設定値を取得します。
コマンド	get network vpn_conf keepalive_count
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get network vpn_conf keepalive_count 6[CR]</pre> <p style="text-align: right;">↑コマンドを入力。 ←現在の設定内容を出力。</p> <p style="text-align: center;">6 -</p>

## 6.4.132 日時設定

## (1) 設定

機能	日時を設定します。
コマンド	set date
パラメータ	第1パラメータ : 時刻データ (YYYYMMDDhhmmss)
動作	実際の通信例 <pre>-set date 20080101120000[CR]</pre> <p style="text-align: right;">←コマンドを入力。</p> <p style="text-align: center;">-</p>
初期値	無し

## (2) 取得

機能	日時を取得します。
コマンド	get date
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get date[CR]</pre> <p style="text-align: right;">←コマンドを入力。 ←現在の設定内容を出力。</p> <p style="text-align: center;">JST 2004/01/01 12:00:00 -</p>

## 6.5 ログ情報表示

## 6.5.1 ログ表示

機能	ログを表示します。
コマンド	log show
パラメータ	第1パラメータ : ログ表示対象 (session, block, mobile, serial, vpn, ddns, dhcp, wanher, stock, system, ppp)
動作	実際の通信例 <pre>-log show system[CR]</pre> <p style="text-align: right;">←コマンドを入力。</p> <p>1 : 2008/08/04 09:48:10 - 'ログシステムの開始'</p> <p>2 : 2008/08/04 09:48:15 - 'NTP サービスを開始します'</p> <p>3 : 2008/08/04 09:48:15 - 'NTP サーバ名 : ntp.jst.mfeed.ad.jp / ntp.nict.jp'</p> <p>4 : 2008/08/04 09:48:16 - 'NTP 間隔: 86400 秒'</p> <p>5 : 2008/08/04 09:48:18 - 'NTP サービスで時刻取得に成功しました'</p> <p>6 : 2008/08/04 09:49:33 - 'telnet にアクセスがありました [192.168.62.50]'</p> <p>7 : 2008/08/04 09:49:37 - 'telnet にログインしました [192.168.62.50]'</p> <p>8 : 2008/08/04 10:20:49 - 'telnet にアクセスがありました [192.168.62.50]'</p> <p>9 : 2008/08/04 10:20:54 - 'telnet にログインしました [192.168.62.50]'</p> <p style="text-align: center;">-</p>

## 6.5.2 ログクリア

機能	ログを消去します。
コマンド	log clear
パラメータ	第1パラメータ : ログクリア対象 (session, block, mobile, serial, vpn, ddns, dhcp, wanher, stock, system, ppp)
動作	実際の通信例 <pre>-log clear vpn[CR]</pre> <p style="text-align: right;">←コマンドを入力。</p> <p style="text-align: center;">-</p>

## 6.6 ステータス情報表示

## 6.6.1 ステータス表示

機能	ステータスを表示します。
コマンド	status
パラメータ	第1パラメータ：表示対象（以下のものとなります） lan - LAN ポートの状態 mobile - モバイル通信端末の状態 serial - シリアルの状態 ipsec - IPSec の状態 ntp - NTP の状態 wheart - WAN ハートビートの状態 kai - 名前解決サービスの状態 telnet - telnet サービスの状態 web - WEB サービスの状態 dns - DNS サービスの状態 dhcp - DHCP サービスの状態 route - ルーティングの状態 rip - RIP サービスの状態 log - ログサービスの状態
動作	実際の通信例 - <i>status lan</i> [CR] ←コマンドを入力。 1: negotiated, 100baseTx-FD, link ok ↑ステータス表示。 -

## 6.7 接続・切断機能

## 6.7.1 回線の接続

機能	指定された回線を接続します。
コマンド	connect
パラメータ	第1パラメータ：回線（mobile, vpn） 第2パラメータ：設定番号（1~16） ※vpn の場合のみ
動作	実際の通信例 〈モバイル通信端末の接続〉 - <i>connect mobile</i> [CR] ←コマンドを入力。 - 〈VPN の接続〉 - <i>connect vpn 1</i> [CR] ←コマンドを入力。 -

## 6.7.2 回線の切断

機能	指定された回線を切断します。
コマンド	discon
パラメータ	第1パラメータ：回線（mobile, vpn） 第2パラメータ：設定番号（1~16） ※vpn の場合のみ
動作	実際の通信例 〈モバイル通信端末の切断〉 - <i>discon mobile</i> [CR] ←コマンドを入力。 - 〈VPN の切断〉 - <i>discon vpn 1</i> [CR] ←コマンドを入力。 -

## 6.8 その他機能

## 6.8.1 本機のリセット

機能	コマンドを入力後、実行確認を行い、本機はリセットしコールド スタートします。
コマンド	reset
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-reset[CR]                ←コマンドを入力。 システムをリセットしてよろしいですか？ [y(yes) or n(no)] : y[CR]                      ←“y”を入力 -                            ←リセットされる。</pre>

## 6.8.2 設定全消去

機能	設定内容を全消去し、工場出荷時の状態に戻します。
コマンド	allclear
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-allclear[CR]             ←コマンドを入力。 設定を初期化します。よろしいですか？ [y(yes) or n(no)] : y[CR]                     ←“y”を入力 設定を保存します... -</pre>

## 6.8.3 設定保存

機能	設定した内容をフラッシュ ROM に書き込みます。
コマンド	save
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-save[CR]                ←コマンドを入力。 設定を保存します... -</pre>

## 6.8.4 ping

機能	ping 処理を行います。
コマンド	ping
パラメータ	第1パラメータ：pingを行う対象のアドレス
動作	実際の通信例 <pre>- ping 192.168.62.50[CR]    ←コマンドを入力。 処理中です... PING 192.168.62.50 (192.168.62.50): 56 data bytes 4 bytes from 192.168.62.50: icmp_seq=0 ttl=128 time=0.0 ms 4 bytes from 192.168.62.50: icmp_seq=1 ttl=128 time=0.0 ms 4 bytes from 192.168.62.50: icmp_seq=2 ttl=128 time=0.0 ms 4 bytes from 192.168.62.50: icmp_seq=3 ttl=128 time=0.0 ms 4 bytes from 192.168.62.50: icmp_seq=4 ttl=128 time=0.0 ms  -- 192.168.62.50 ping statistics -- 5 packets transmitted, 5 packets received, 0% packet loss round-trip min/avg/max = 0.0/0.0/0.0 ms -</pre>

## 6.8.5 コンソールの終了

機能	コンソールを終了します。
コマンド	exit
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-exit[CR]                ←コマンドを入力。 ←接続切断。</pre>

## ■ サポートのご案内

- 最新情報の入手

Rooster-esに関する最新情報は、弊社ホームページから入手することができます。また、バージョンアップ情報につきましても公開しております。

- 製品紹介ページ

<http://www.sun-denshi.co.jp/sc/es/>

- ご質問・お問い合わせ

Rooster-esに関するご質問やお問い合わせは、下記へご連絡願います。

ユーザーサポートセンター	
● 電話	0587-55-0161
● FAX	0587-55-0815
● メール	<a href="mailto:support-suncomm@sun-denshi.co.jp">support-suncomm@sun-denshi.co.jp</a>
● 受付時間	月曜～金曜 10:00～16:00(12:00～13:00を除く) 祝日、弊社休日を除く

Rooster **es**

SC-RS710ES  
TELNET 設定機能説明書 Ver. 2.0

2010年3月発行

### サン電子株式会社

〒483-8555 愛知県江南市古知野町朝日 250

※無断複写・転載を禁止します。

(100326)